

日本一、働きやすい県庁(しょくば)アンケート2018の概要

平成30年12月17日
中央労使協働委員会

本アンケートは、県と県職員労働組合が「労使協働」の取組の一環として、職員の満足度や意欲・問題意識等に関する状況を把握し、今後の「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」の取組を推進していくために実施するものです。

1 調査方法

(1) 調査対象

職員 5,210 人（派遣職員等を除く）を対象に実施しました。
なお、有効回答者数は 3,326 人、回答率 63.84%でした。

(2) 調査期間

平成30（2018）年10月1日～10月17日

(3) 調査内容

日本一、働きやすい県庁(しょくば)を実現するために必要と考えられる6つのテーマに分類し、集計しました。

- | | |
|--------------------------|----------|
| ① 安全・安心に関すること | (設問 6 問) |
| ② 時間に関すること | (設問 5 問) |
| ③ 男女共同に関すること | (設問 4 問) |
| ④ 職場の「支えあい」を実現するために | (設問 5 問) |
| ⑤ 意欲を持って働くために | (設問 6 問) |
| ⑥ ワーク・ライフ・マネジメントを実現するために | (設問 2 問) |

計28問について、「そう思う」「やや思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つの選択肢により、職員がどれだけ満足しているかについて調査を行いました。

(4) 算出方法

設問は5点満点で、全体の最高は100点となるようになっています。

2 調査結果の概要

(1) 全体の特徴

① 全体の満足度

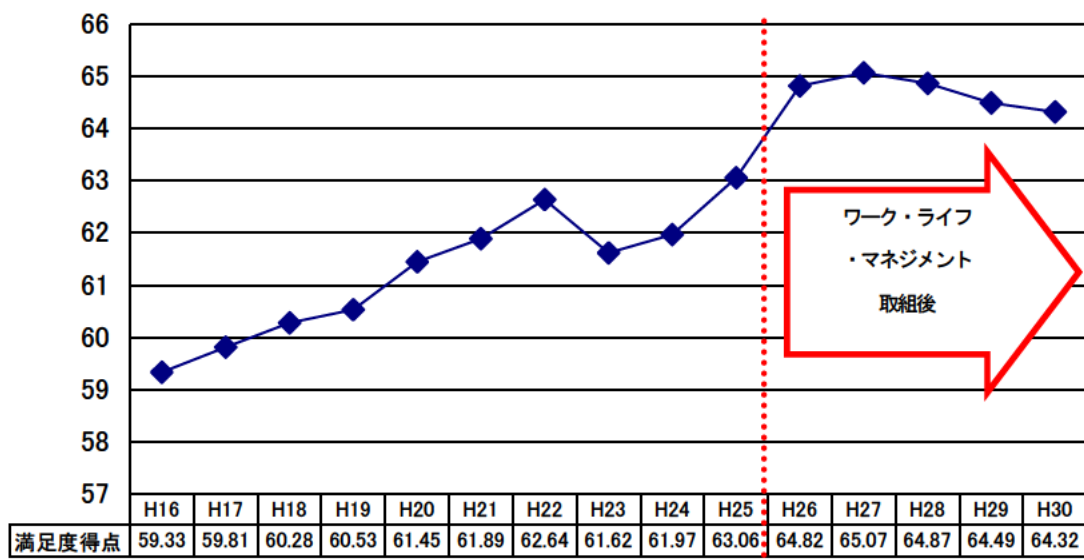
全体の満足度は64.32点となり、平成27年度の最高点後、ここ3年漸減傾向となっています。

(参考) 職員アンケートの全体満足度得点推移

H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)
59.33	59.81	60.28	60.53	61.45	61.89
H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)
62.64	61.62	61.97	63.06	64.82 ③	65.07 ①
H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)			
64.87 ②	64.49 ④	64.32 ⑤			

※ H23までのアンケートは設問数及び内容が現在のアンケートとは異なります。

※ ①～⑤は順位を表しています。



② 設問別の満足度

最高点は「問8 通勤時間」(3.75点)、最低点は「問26 昇任のしくみ」(2.58点)でした。

3.50以上の高得点は「問8 通勤時間」(3.75点)、「問12 子育て介護への理解」(3.74点)、「問15 性別にかかわらず能力の発揮」(3.66点)、「問4 仕事上の相談相手」(3.65点)、「問5 ハラスメント」(3.61点) 5項目となりました。

また、「問26 昇任のしくみ」(2.58点)、「問1 職場環境」(2.70点)、「問28 充実した働き方・生き方」(2.81点)、が全体と比較して低い得点となっています。

なお、ワーク・ライフ・マネジメントに関する「問27 ワーク・ライフ・マネジメントを充実させていこうという雰囲気」(3.35点)は昨年度を上回りましたが、「問28 充実した働き方・生き方」(2.81点)については増減はありませんでした。

(2) 項目別の満足度の特徴

① 所属

他の地域機関(65.12点)、本庁及び地域庁舎の事務所(64.27点)、県立学校(62.29点)の順となりました。

昨年度と比較して、本庁は昨年度の点数を上回りましたが、その他の所属は昨年度の点数を下回っています。

② 部局・地域庁舎

部局別満足度では、病院事業庁(72.62点)、出納局(72.31点)、各種委員会(70.66点)が高い結果でした。一方で、防災対策部(51.94点)、教育委員会事務局・県立学校(61.16点)、戦略企画部(61.30点)が低い結果となりました。

昨年度と比較して、地域連携部、子ども・福祉部(※)、各種委員会等は昨年度の点数を上回りましたが、議会事務局、防災対策部、戦略企画部等は昨年度の点数を下回っています。

地域庁舎の地域別満足度では、尾鷲庁舎(74.26点)が最も高く、伊勢(志摩)庁舎(61.48点)が最も低い結果となりました。

※平成29年度は健康福祉部との比較。

③ 役職

今年度から、課長補佐級を本庁の班長、地域の課長及びそれ以外の職の2つに分けてアンケートを行いました。

結果、課長級以上(補佐級管理職を含む)(74.06点)、一般(65.74点)、課長補佐級(本庁の班長、地域の課長)(64.86点)、主査級(61.76点)、主任級(60.97点)、課長補佐級(本庁の班長、地域の課長以外の職)(60.59点)の順となりました。

課長補佐級を2つに分けた結果、その差は4.27点の差となっています。

(3) 日本一、働きやすい県庁の推進に向けての自由意見

全体で延べ814件の意見がありました。

- ① 最も多かったのは、仕事配分、業務量に関するもので、122件(15.0%)あり、業務量に応じた人員配置、業務量等の対策・実施を求める内容でした。
- ② 次に多かった意見は、職場環境に関する意見で75件(9.2%)あり、空調及び適切な勤務スペースの改善等の対策・実施を求める内容でした。
- ③ 他に多かった意見は、勤務時間削減の取組(業務改善)に関するもの57件(7.0%)、昇任の仕組みに関するものが42件(5.2%)、人事異動に関するもので36件(4.4%)となりました。

3 今後の取組

アンケート結果(数値、自由記載意見等)を各部局へ提供し、各部局等労使協働委員会において課題について検討するとともに、今年度の日本一、働きやすい県庁(しょくば)の取組に活用してもらいます。